

令和2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち

施策 03 防災対策の推進

基本事業 01 市民の防災意識の向上

主管課： 交通防災課

関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民の防災意識を高め、災害時に適切な対応ができるようにします。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

防災対策を講じている市民の割合 (%)				交通防災課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
57.30	52.50	53.90	57.50	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値と比べると3.4ポイント減少していますが、昨年度と比べると1.4ポイント増加し、少しずつですが市民の関心が高まっていると考えられます。		
対前年度	向上	(原因) アンケート結果を見ると、ほとんどの方が何らかの対策を講じていますが、指標値はアンケート項目で災害に備え4つ以上の準備をされている方を対象としているため、今後も極端な上昇は見込めないと考えられます。引き続き、啓発活動に努めます。		
目標達成度	低			
次年度課題	課題とする			

自主防災組織結成率 (%)				交通防災課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
66.10	72.80	73.40	74.50	75.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値と比べると7.3ポイント、前年度と比べると0.6ポイント増加しています。		
対前年度	向上	(原因) ホームページや広報紙等により啓発活動を進めた結果、令和元年中には5団体が結成され、着実に自主防災組織が結成されています。		
目標達成度	高			
次年度課題	課題とする			

防災訓練参加率 (%)				交通防災課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
8.60	14.00	14.41	0.22	10.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値からは5.81ポイント、昨年度と比べると0.41ポイント増加しています。		
対前年度	向上	(原因) 市の防災訓練の参加団体が増加（自主防災組織の結成が進み、内容や日程など、地域の実情に合わせた防災訓練を実施する自治会が増加）したことによるものです。これは、近年の異常気象による災害発生や茨城県南部地震の発生が懸念される中、防災訓練の必要性が浸透してきたことが原因と考えます。		
目標達成度	達成			
次年度課題	課題としない			

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針				
対前年度				
目標達成度				
次年度課題				

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	1,170	2,588	3,315	5,070	5,070
人件費	3,592	2,851	4,526	0	0
トータルコスト	4,762	5,439	7,841	5,070	5,070

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

発災対応型防災訓練は、多くの自治会や市民の皆さんとの参加により、自助・共助の大切さを学び訓練することができました。自主防災組織の結成については、防災講演会や発災対応型防災訓練への参加により組織の必要性が周知され、組織率も着実に上がっていくものと思われます。引き続き、防災を考える会や既に組織された自主防災組織のご協力をいただきながら、実行性のある訓練を実施し、減災の成果向上に取り組む必要があります。しかし、新型コロナウイルスの感染予防ため、3密を避けた訓練についてが課題となります。

推進状況	一部停滞あり
次年度への課題	課題あり
成果方向性	維持
コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価